

直線の美しさが際立つ 角物の真骨頂。

河和田地区の『井上徳木工』は、越前漆器のなかでも「角物」と呼ばれる箱ものの木地を専門に手がける木工所。一口に漆器と言っても、椀のような曲線を削り出す技術と、角物をつくる技術とでは、求められるものが全く異なる。『井上徳木工』が向き合うのは、直線。角のわずかなゆがみが仕上がりを左右するため、ミリ単位の正確さが求められる世界だ。

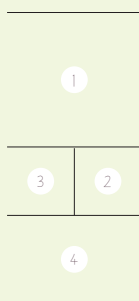
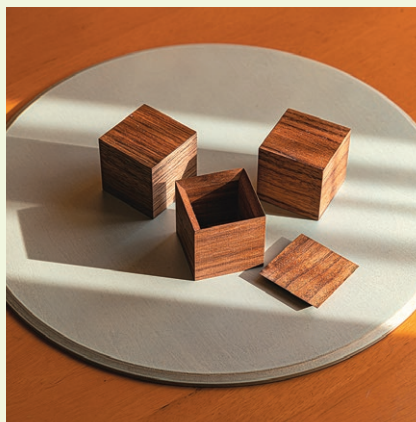
この繊細な木地の形のものに目を向けてもらいたい——そんな思いから、クラフトイベント「RENEW」をきっかけに、兵庫県のデザインスタジオ『TRUNK DESIGN』とのコラボで生まれた木地ブランドが「Lr（エルアール）」だ。

「Lr」では、生漆を塗り、拭き取る作業を繰り返す拭き漆の技法を採用。あえて塗り色を薄くすることで、精緻に加工された木地の美しさが際立つ。香台や重箱など、シンプルながらも端正なアイテムは、暮らしの空間に凛とした風情を与えてくれる。



井上徳木工

📍 鯖江市河和田町26-19
☎ 0778-65-0338
📷 @tokumokkou



①(手前)Lr 重箱 角/拭き漆1万5400円。一般的な拭き漆より薄めのナチュラルな色合いが魅力。(奥)Lr 重箱 丸/ウレタン塗装9900円。角タイプと同様、1段でも重ねても使えるマルチなデザイン。②(中央)Lr 香台/拭き漆5500円、ウレタン加工4400円。受け皿部分にはコンマ1mm単位の繊細な細工が光る。(左右)お香立て/オーク、ウォールナット3850円。おしぼり受けの形に着想を得て制作。③CUBE BOX 2000円。一見、完全な立方体だが、天面が蓋となっている遊び心あるデザイン。④蓋と箱がぴたりと噛み合う精巧なつくりは、熟練の技の証



©TRUNK DESIGN INC.